



# JASDAQ

2020年12月25日

各位

株式会社ジェクシード  
(URL <http://www.gexeed.co.jp>)  
代表者名 代表取締役 野澤 裕  
(コード番号：3719)  
問合せ先 経営企画室 座間 美雪  
電話番号：03-5259-7010

## 中長期経営計画の進捗と取り組みについて

当社は、2019年3月に公表いたしました中長期経営計画「VISION2021」（2019年12月期～2025年12月期、以下「本中長期経営計画」といいます。）の進捗状況及び取り組みについての概要を下記の通りお知らせいたします。

当社は継続して、本中長期経営計画に基づき、企業価値ならびに株主価値の向上を目指し、収益構造の改革を推進して高収益モデルを確立すると共に、株主還元の実現を図ってまいります。

### 記

#### 1. 中長期経営計画の概要

当社では、業容の拡大を目的として、「資本・業務提携やM&Aの検討」、「新規事業創出の検討」を積極的に進めております。

本中長期事業計画では、2025年までの期間における事業拡大の方向性を示すこととし、2019年度から2021年度（中期）を「ビジネス変革期」、2022年度から2025年度（長期）を「ビジネス拡大期」と位置づけ、企業価値の向上ならびに株主価値の向上を目指しております。

##### (1) 対象期間：2019年1月から2021年12月まで（中期）

ビジネス変革期と位置付け、既存事業を柱として安定的な黒字経営を定着させるとともに、2022年以降の急速な事業拡大のための準備期間として新たなビジネスモデルへとドラスティックな変革を模索しています。

このために、財務基盤を充実することで、資本・業務提携やM&A、新規事業の立ち上げ、社員の育成・多能化等、戦略的な投資を行うとともに、株主の皆様への還元策の充実、従業員満足度の向上を図っております。

##### (2) 対象期間：2022年1月から2025年12月まで（長期）

ビジネス拡大期と位置付け、グループ企業体制を形成するとともに、先端IT技術を活用した事業やプラットフォーム事業、教育事業等の新規事業領域への拡大、さらに、グローバル展開事業や関連会社等による収益を柱として、事業規模の急速な拡大を図ってまいります。

また、2022年4月に予定されている東京証券取引所の新市場区分への変更を視野に入れてガバナンス体制の構築を進めてまいります。

#### 2. 中期経営計画の進捗（2019年1月から2021年12月まで）について

積極的に企業価値の向上ならびに株主価値の向上を目指し、事業領域の拡大を推進するとともに、長期間において成長し続けるために必要な事業基盤の整備を進めています。

また、お客様のビジネス成長に貢献するために必要となる特定分野における高い専門性を有する人材の充実を図るために、人材の確保・育成に重点を置いています。

##### (1) 基本方針

- ① 財務基盤の充実と戦略的な投資計画の実行
- ② 資本・業務提携、M&Aによる短期間での業容の拡大
- ③ 株主還元策の充実
- ④ 社員の多能化推進、ワークライフバランスの向上

(2) 基本方針における取り組み状況

- ① 財務基盤の充実と戦略的な投資計画の実行  
戦略的な投資を実行するための資金として、394百万円を増資により調達しました。また、新型コロナウイルス感染症による影響の対策として、金融機関より運転資金として200百万円の融資を受け、手許資金を充実しております。2019年には、払い戻しを行わない無償減資により欠損補填することで、累積損失を解消し、財務体質の健全化を図りました。
- ② 資本・業務提携、M&Aによる短期間での業容の拡大  
当社におけるM&A戦略を策定し、複数のM&A仲介会社や銀行の協力を得て、当社との間でシナジーが見込める企業に対して積極的に資本・業務提携やM&Aの検討を進めております。  
当社の子会社である株式会社クラウドカスタマーサクセスが、フィリピン共和国のIT開発会社を株式譲渡により取得し、オフショア開発を開始し、また、STEM教育を軸とした事業を展開するために株式会社XYEEDを子会社化し、教育事業分野へと事業領域の拡大を開始しました。
- ③ 株主還元策の充実  
株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、株主の皆様との対話方法や関係性構築のありかたを含めて総合的な検討を行っております。  
「ジェクシード・プレミアム優待倶楽部」を活用して、議決権行使の電子化を継続すると共に、株主通信を活用して情報発信を開始、さらに、ポイント制度による株主優待制度を新設いたしました。株主管理の電子化を進めることで、株主様の利便性を向上するとともに、効率的な株主様との対話を実現することで、企業価値の向上に努めてまいります。
- ④ 人材の拡充、社員の多能化推進、ワークライフバランスの向上  
人材の確保・育成に重点を置き、社員の多能化を推進することで、よりお客様のビジネス成長に貢献することができる体制を整えることを目的として、2025年度末における会社のあるべき姿に基づいた人事制度への改革を進めるために、人事制度グランドデザインを策定しました。特に、社員の働きがい、働き方の多様化、ワークライフバランスに着目して人事制度改革を進めることで、離職率の低減を図るとともに、より質の高いサービスを継続して提供すると共に社会への貢献を目指してまいります。

(3) 連結業績目標

当初の計画では2021年度が中期経営計画の最終年度となりますが、本年度においては、新型コロナウイルス感染症による影響を受け営業機会の損失、受注案件開始時期の先送りによって当初計画した業績の達成が困難な状況となりました。

このため、2021年度12月期に設定をしていた業績目標値を1年間先延ばしいたします。当初より計画している事業戦略の実行時期を変更することなく着実に推進すると共に、2025年度12月期の業績指標値を据え置くこととしましたのでお知らせします。

今後、グループ企業体制を形成していくことを見越した連結業績目標及び指標を達成するべく、事業規模の拡大を推進してまいります。

(単位：百万円)

	2019年12月期 (実績)	2022年12月期 (目標)	2025年12月期 (指標)
売上高(連結)	———	1,500	3,000 ～5,000
売上高(単体)	654	1,000	1,500
営業利益(単体)	15	56	150
営業利益率(単体)	2.3%	5.6%	10%

以上